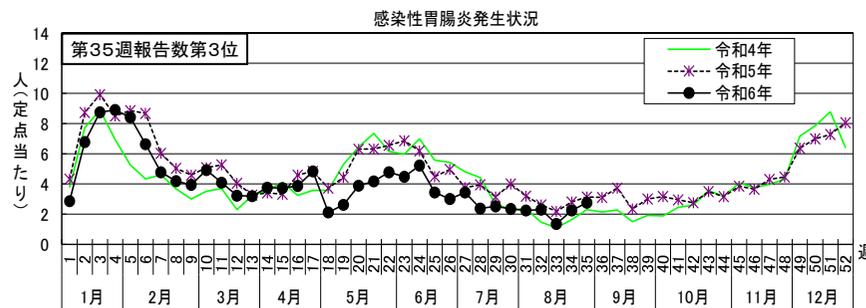
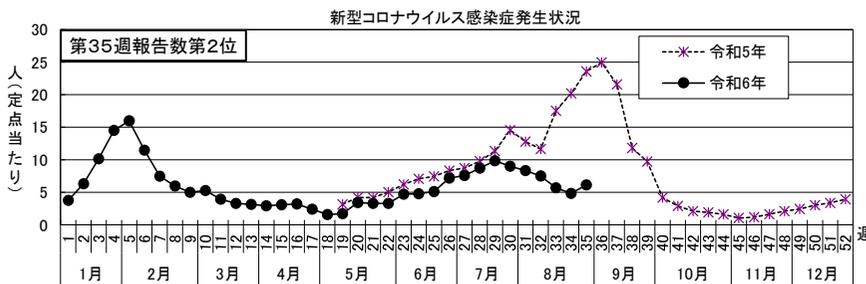
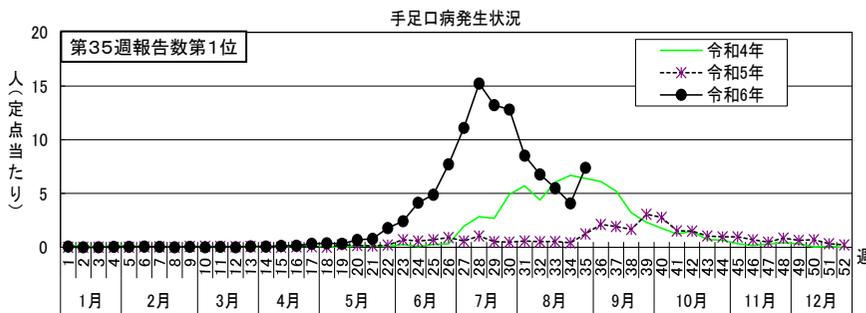


# 今、何の病気が流行しているか！

## 【感染症発生動向調査事業から】

令和6年8月26日（月）～令和6年9月1日（日）〔令和6年第35週〕の感染症発生状況

第35週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 手足口病 2) 新型コロナウイルス感染症 3) 感染性胃腸炎でした。  
 手足口病の定点当たり患者報告数は7.38人と前週（4.08人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。  
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は6.11人と前週（4.83人）から横ばいでした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.76人と前週（2.25人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



### 知っていますか？～エムポックス～

エムポックスは、かつてはサル痘と呼ばれていた感染症で、エムポックスウイルスを保有する動物や人との接触等で感染します。現在、アフリカを中心に急速に感染が拡大しており、世界保健機関（WHO）が再び「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」を宣言しました。

エムポックスウイルスには複数の型があり、令和4年には欧米を中心にクレードⅡ（西アフリカ型）と呼ばれる型が流行しましたが、今年はより重症化しやすいとされるクレードⅠ（コンゴ盆地型）が流行しています。

エムポックスは、水疱性の発しんが出現し、水痘等との鑑別が難しい疾患です。流行国に滞在歴がある方で、発しん等の症状が出現した場合は、医療機関に御相談ください。

#### エムポックスとは？

##### 【感染経路】

感染した動物や人の血液、体液、皮膚病変部との接触により感染

##### 【潜伏期間】

5～21日間（通常7～14日間）

##### 【主な症状】

発熱やリンパ節の腫脹が数日持続した後、顔面を中心に水疱性の発しんが出現（手のひらや足底、性的接触部位等にも出現）

##### 【経過】

2～4週間で自然に軽快

※小児や妊婦、免疫不全の方は重症化に注意が必要



アフリカにおけるエムポックスの報告数  
 (2024年1月1日～8月25日)

